

ひでお行動

VOL.24

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

7月12日



朝方まで開票結果を見ていたので眠い。吉田ただとも候補当選して素直に喜びたい。お世話になった方々に電話でまずはお礼を述べながら今日のスタートである。

11時過ぎ事務所に行きお礼を述べる。会長中心としてポスター撤去作業を午前中から汗をかいてくれていた。昼食を皆で秘書手製の冷麦をご馳走になる。昼からも事務所にて選挙戦の始末に追われる。

7月13日

山形県唯一の離島「飛島」今回で7代目になる定期船「とびしま」の就航記念式典と安全祈願祭に出席、新定期船は広島県の尾道市にある造船会社に発注し今月10日酒田港に到着し、これから賑わう観光客に合わせたものである。2800人住んでいた飛島も今は280人と減少しているが、全島が釣り場で釣り好きな人達には大人気で旅館は16館営業しているし鳥海国立公園として指定されている。式典には吉村知事も出席し祝辞を述べた。酒田市内あいさつ回り後夕方からは10日会会長と意見交換

7月14日

8月6日の後援会総会に向けて、選挙のお礼とあわせ企業、団体廻り。山形まで送って頂き19時から社民党山形支部と意見交換。県議2名市議7名を抱え県内最強の支部である。しかし、最近の国政選

挙で得票数を落とし、今回は大きく減らしてしまった。これから総括論議始まるが、来春の統一地方選に向けて何からはじめるのか。党員拡大、新報拡大、23時55分夜行バスで東京に向かう。久しぶりの夜行バスであるがほぼ満席である。アルコール入っているが、なかなか寝付かれない。

7月15日

夜行バスで朝5時過ぎに東京に着き宿舎で風呂に入り休む。9時に社文会館に着き「吉田ただとも」選対事務所に伺いご労苦に敬意を表しながら意見交換、9時半から全国常任幹事会出席。党首はじめ厳しい結果に表情は暗い。マスコミで既に流れている国民新党からの提案、確かに参議院で5名以下になり代表質問の権利も失い、政策実現、党の存在感を示す為には参議院での統一会派も考えられるが、与党と野党との会派は前代未聞、わかりにくい。党員、支持者、国民から理解が得られるだろうか。有権者との絆、信頼関係あってこそ政治は動くものである。いくら理由付けしても信頼関係失うならば党利党略、私利私欲に走るだけである。参議院、党3役に委ねたがどう判断するのか心配である。秘書と選挙後初めて顔を合わせ、厳しかった選挙戦共に戦ってくれた事にお礼を述べながら、溜まっている書類、仕事を5時過ぎまで取り掛かり、6時の新幹線で山形に向かい、車で迎きて頂く。自宅着は11時前

7月16日

「ひでお行動」「ニュースNO10」配布しながら今日一日、選挙選お礼と後援会総会案内、夜は新庄で組織対策、8月から新庄、最上地区の組織アドバイザー先輩のT氏から了解を頂く。「戸別所得保障制度」加入農家8割を超える見通しと発表、

7月17日

10時半からの山形県市議会議長会懇談会出席の為8時過ぎに出発する。都市と地方の格差が開く一方、自主財源も減少してきている中で「活力をどう取り

戻すのか」議長会を代表して3市から問題提起と要望、終了後社民党県連3役で日程調整

7月18日

日中あいさつ回り、結果がでず励まされるが重い気持ちであいさつ回りである。夜は新庄最上組織体策で10時までかかりながらも、協力党員1名拡大しながら拡大リストについて意見交換

7月19日

日中、あいさつ廻り、昼食挟んで女性部役員会、選挙選で電話かけて頂いたり、頑張ってもらながらも結果がでなかったが、女性は元気が良くて頼もしく感じる。国会見学会を秋に予定しその準備に取りかかる。又、8月6日の後援会総会ビアパーティーのチケット販売など・・・楽しい雑談含めた意見交換

7月20日

惨敗した参議院選挙の結果を受けて今後の活動の協力依頼要請、ご指導賜るためU社、T社、G社の社長と懇談、昼は後援会長、事務局長と昼食挟んで懇談、夕方は旧松山町対策が会場連絡ミスで延期、代わりに地元対策

7月21日

1週間ぶりの議員会館へ、すべてが新しくなっている。地下鉄国会議事堂前駅からまっすぐ議員会館への地下道が出来ている。議員会館は玄関が広くロビーも広い。執務室への議員専用のエレベーターもこれまでは1台だったが6台もある。執務室も広く専用の会議室もあり秘書室も独立している。まだ引越しでの書類が着いていないため、ガランとしているが、私にはもったいない執務室である。着いたのが4時過ぎであり、新潟のH氏が私を待っていてくれた。又、自治労本部K副委員長他4名も「来年度予算編成」に向けた要請書を持ってきて選挙選のお礼。相変わらずバタバタ・・・

空港に3件連絡入る。①「党首と幹事長選挙選で

のあいさつ回り3時から連合に行くので同席できないか」地元挨拶廻り優先し、中央挨拶廻りは幹事長中心に任せ放し労働担当として申し訳なく思うが時間間に合わず失礼する。②臨時国会30日から思っていたが自民党筆頭理事宮腰氏から連絡入り、口蹄疫集中審議の農林水産委員会27日理事会、28日委員会、そして質問時間を相談し持ち時間20分と決まる。早急に宮崎県連合に相談し、質問の前に現地に入りたいと相談し日程を、今週の日、月と具体的内容は明日まで煮詰めて頂くことにする。③広島県大雨災害現地調査を金曜日に入る為、農政部長として幹事長と一緒に入れないかと連絡受けるが、金曜日は高速道「日沿道」貫通式典などにつ邸重なり宮崎も入っている為失礼する。

今日は朝から飛行機に乗るまで4件約束は入り、12時半からは「平和の火リレー」出発式と込み合い夜は6時から2年間参議院議員として活躍した「渊上副党首」の慰労会、新たに参議院議員として活躍する「吉田参議院議員」の歓迎懇談会、2次会を上野秘書、同級生O嬢を誘い4人で・・・最後はカラオケと・・・本当に渊上副党首ご苦勞様でした。心からお礼申し上げます。

7月22日

昨日の酒が少し残る。6時で起きてレストラン「デニーズ」へ、9時半から全国常任幹事会、今回は選挙選総括である。その前段に国民新党との定期協議を進めるために「合意文書」内容協議、そして私が提案した口蹄疫の調査団編成について協議する。その後、午前一杯かけて総括論議、選挙選終ってから2週間、既に近畿、愛知など既に総括論議が始まっている。東北各県連合はこれからである。文書で総括たたき台は出来たが、常任幹事一人ひとりの論議するには時間ない。このままで各県連合におろし総括するには不十分である。解党的な出直しの、徹底した総括が必要であるのに・・・自分自身も迫られるし自分の総括もキチンと整理し、次の闘いにつなげていく。

午後から執務室で「口蹄疫」質問に向けて整理する。山形県町村会議長会会長（高橋遊佐町議会議員）来所、7月1日議会人事異動で担当職員挨拶に来たり

忙しい。新潟選挙区で惜敗した近藤議員が挨拶に来る。民主党推薦、統一候補としての選対体制を築きながらも、政権離脱が大きく影響し、社民党公認から無所属として闘った近藤議員、真っ黒く日焼けした顔が厳しかった闘い、その物を語っている。選挙区で闘い勝つためには民主党との選挙協力は大きい。今回の新潟選挙区の総括をこれからの闘いに活かして行かなければならない。4時の新幹線で帰省、新庄まで迎に来ていただく。新幹線は時間があり頭、気持ちの整理するのに最適である。

7月23日

日本海沿岸東北自動車道の難関「温海トンネル」貫通式である。東北一長いトンネルである。式典会場は、北側と南側から工事が進みそのトンネルの中央である。貫通ボタンを押すと大きな地響きと同時に貫通、北側、南側から掘り続けたトンネルがつながった。県民の大きな期待を受けて来年度供用開始である。しかし、新潟、秋田とつなぐ大きな課題がある。日本海沿岸の大動脈であるこの道路を早期に完成していかなければならない。高速整備が遅れている山形でも、映画ブームなどで観光客が増えてきている。全国37路線50区間で実施している高速道路無料化の社会実験で庄内空港―酒田間が増加率全国2位そして17日からの連休で初めて渋滞が続いた。中央から離れば離れるほど格差が拡大している中で、地元での努力が続いている。式典、祝賀会は1時前まで用し昼食時間とれず、地元あいさつ廻り、夕方からは「庄内町職労ビアパーティー」「鶴岡、田川連合のビアパーティー」に出席し、参議院議員選挙のお礼を述べながら、遅くまで懇談、

7月24日

夜6時から老人ホーム「しおうえん」の夏祭り、入居者、その家族含めて約400名の参加、家族が参加できない入居者に心配りの対応など職員は大忙し、各席を回りながら声をかける。92歳の母とダブってくる。1時間ほどお邪魔し空手協会合宿所に檄をもっていく。7月31日、8月1日に福岡で開催される全国大会に向けた合宿である。今日で9回

目であり最後の合宿である。東北大会で優秀な成績を挙げ全国大会も期待できる。成年の部はすでに終わり3位にあまんじた。山形は成年の部でも2連覇するほどの実力を持ちながら今年は成績を上げることが出来なかったからこそ、小中学生大会にかける期待は大きくなる。合宿は両親揃っての参加であり、食事はお母さん達の手づくりである。衆議員当選以降、山形県本部の顧問から会長に就任し初の全国大会であり、応援に行きたいが、日程調整できず残念である。合宿では子ども達以上に親達の応援練習も熱が入る。山形県の応援歌バージョンがある。毎年の事ながら合宿を通じて一つになる。鈴木本部長はじめ講師の方々は仕事を休み、交通費宿泊費すべて自前である。父兄の自前はわかるが指導者の方々の旅費は何とかならないかと思うのだが……、ちなみに今年は福岡であり13万円である。子ども達のために毎週稽古をつけて、はんばな気持ちでは出来ない。鈴木本部長はじめ講師の方々に感謝、感謝である。

7月25日

朝2便で羽田経由宮崎へ、今日から明日まで社民党口蹄疫現地調査である。夏休みで満席、空港に着き、マンゴージュース飲む、1杯950円結構いい値段である。宮崎産マンゴーを目の前でミキサーでジュースにしてくれる。うまい。宮崎社民党県連へ向かう途中タクシードライバーから、高校野球に応援がいけない。夏祭り9月延期、各イベント中止など景気悪化に益々拍車をかけてきた状況を聞きながらも、これまで観客のいない高校野球であったが、27日の移動解除にあわせ準決勝から応援に行かれると嬉しそうに話してくれた。相当な高校野球ファンである。県知事はじめ多くの関係者の皆さんに他県に感染しないで県内で封じ込めた事に感謝したい。社民党事務所に隣の熊本県出身の中島幹事長代行は到着していたので、すぐに意見交換。国会議員はいないが県議5名市町村議員も多く元気がある県連である。日曜日に関わらず代表はじめ10名出席して頂いた。県議満行氏から「口蹄疫、現状と課題」中間報告として提起を受け、鳥飼代表からは社民党県議団が中心となり超党派でまとまった「口蹄疫の深

刻な影響から事業再生を図るための基金創設」について報告を受けた。又、川南町議員で畜産農家である竹本氏からは、すべての牛が殺処分になった経過、保障、再建に向けた悩み、そして川南町の現状について報告をうけ、6時予定が7時を廻る。会場を移し懇談会、会場には女性書記も加わり口蹄疫から参議院議員選挙、来春の統一地方選、組織づくりなど遅くまで続く。宮崎市外の県議は同じホテルで泊まり、県連のまとまり……見習わなければ成らない。

7月26日

口蹄疫問題現地調査2日目である。目的と日程

1、目的

口蹄疫病対策の現状と感染拡大がもたらした地域経済への深刻な影響を視察するとともに、畜産農家、地元商工会等との意見交換を通じ、必要な対策の方向性を明らかにする。

2、調査団

団長 中島隆則衆議員議員（社民党幹事長代理）

事務局長 吉泉秀男

団員 社民党宮城嫌疑会議意5名 宮城市議員3名 川南町議員 1名

社民党全国連合政策担当職員 1名

3、日程

8時20分 ホテル出発 10人乗りレンタカー用意して頂き川南町

9時40分から10時20分

内野宮町長はじめ副町長、担当課長達と面接、意見交換、口蹄疫病という災害に見舞われ3か月、役場庁舎には全国から寄せられたメッセージ、子ども達の手紙など、町長室、執務室、通路いっばいに貼られてあった。町長から「全国から力強い励まし、暖かい義捐金を頂き、町民一丸となって再生に向け歩みは始めている。」と開口一番感謝と3か月の状況について報告を受けた。町の基金を約2億円取り崩し対応しているが、特別交付税について国からの具体的内容が示されず、このままでは財政不足が生じるし、早く国の支援内容を示して欲しいと要望される。又、雇用不安が深刻で、畜産関係で働いていた約130人



が失業し対策に苦慮し、地域再生に向けてビジョン策定中である事について報告を受ける。

10時半から11時半

口蹄疫初めて出た地区に行き、集会所広場で3名の畜産農家と意見交換。農家からは、先日疫学調査チームの発表した県船経路報告に「農家に何も聞き取りせず、感染経路を勝手に発表され、困惑している。」と不満を述べられ、「感染経路の徹底した調査、解明して欲しい。これからも畜産続けたいが不安が先に立ち考えでしまう。」と要望を受ける。

11時半から12時15分

農家の案内で埋却地の視察、糞尿処理場視察、畜産の町から家畜が1頭もいなくなった集落、そして元気な泣き声を出していた牛、豚が殺処分され重なりながら地下に埋められている……自然に埋却地の前で手を合わせる。

14時30分

東国原知事から「再発防止の為に徹底した原因究明など7項目29点」を知事の重いも含めて丁寧な説明を受けた。又、深夜移動解禁を迎えることになったことに対するお礼と8月31日安全宣言を行う予定しているが、地域再建、復興に向けた力強い決意が述べられた。そのご担当部会長との意見交換

15時40分

県庁内において記者会見

16時半

社民党県連において「まとめ」と農林水産大臣への社民党としての要望事項見当、今回の視察を踏まえて要望10項目にまとめる。

